

議会より町民の皆さんにとどける



議会だより

活力みなぎる緑の郷土 なかしべつ



健康は各自の大きな財産みんな（なかしべつ冬まつりでの耐寒ラジオ体操）

- ・ **議員定数24名から18名に** 委員会報告…………… P2
- ・ **一般行政・教育行政報告** 町長・教育長…………… P3
- ・ **町づくりの議論白熱** 一般質問に8人で10問…………… P4～9
- ・ **平成17年予算案に対する一問一答** 予算審査特別委員会から…………… P10～11
- ・ **条例改正・意見書採択、予算規模他** 3月議会で決まりました…………… P12～13
- ・ **編集後記** 他…………… P14



議員定数24名から18名にしました

議員定数については、平成8年度に26名から現在の24名となりました。

その後、羅臼町との合併協議を進めるなかで、住民投票の結果、自立とすることになり、社会情勢の変化や地方財政の厳しいなか、議員自らが改革を進める手段として、昨年12月定例会で議員全員による「議員定数削減特別委員会」を設置し、定数削減を前提として審議を進めました。

第2回の委員会で議員定数「16名」「18名」「20名」の3案が提案され、第3回委員会で採決の結果、定数16名に賛成者が8名、定数18名に賛成者が15名で結果は定数18名となりました。

議員定数は何人が適当であるかという難しい選択のなかでの結論でありました。

町民の理解と協力を得ながら、議員自らの果たすべき役割を自覚し、議会としての機能とその重要性を考えたなかで、議員定数を現行24名から6名減の18名が適当と判断したものです。

(次回の町議会議員選挙より)

一般行政報告

要望等について

北方領土隣接地域振興対策協議会として、民主党衆議院沖縄及び北方領土問題に関する特別委員会議員団の来町時、「北方領土の日根室管内住民大会」出席の外務副大臣ほかの国会議員に対し、北方領土の早期返還並びに隣接地域の

振興について、要請を行いました。

根室地方総合開発期成会として、関係各省庁、国会議員などに対し、酪農・畜産の持続的な発展と生産者の経営安定に向け各種の要望を行いました。

寄贈金品について

町に対し、現金で4件、百8万円、物品で2件、また、社会福祉協議会に対して、現金で32件、百34万5千7百46円の善意が寄せられました。深く感謝申し上げます。

建設工事の発注状況

16年度建設工事の発注については、全て発注を終えました。

教育行政報告

各種大会

出場結果について

スポーツでは北海道中学校スケート・アイスホッケー大会に広陵中学校・中標津中学校から11名が出場。そのうち5名が全国大会に進み、健闘

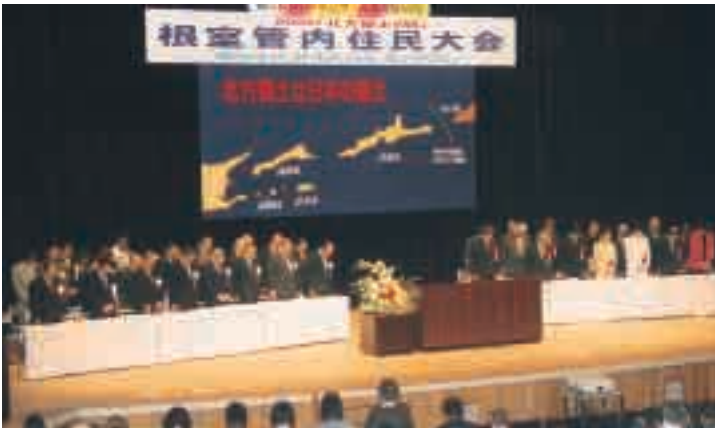
しました。

その他多くの大会に各種出場し大活躍をしました。

文化関係では、東北道学校農業クラブ実績発表大会で中標津農業高校が「クラブ活動発表」の部で最優秀賞に選ばれ、全道大会に出場しました。

教育実践表彰について

16年度根室管内教育実践において開陽小学校が実践論文成果部門で「実践賞」を受賞しました。



北方領土の日管内住民大会



農業クラブ実績発表大会にて



根室管内教育実践表彰式

あなたにかわって町政の考え方を質す

8名の議員が町理事者に質問しました。
その内容を要約し掲載します。

一般質問

民間活力の導入を

笹谷芳夫 議員

研究グループ立ち上げ

町 長

によるサービスの提供しかない。真正面から取り組む意気込みを聞きたい。

質問

民設公営の「PFI」という手法はインシャルコストの軽減には極めて有効だ。業務の民間委託というのは消極的民間活力の導入である。牧場会計からはじまり病院会計まで原則民営化の基本方針を立てればよい。

もつとも民営化しやすいものに体育施設と総合文化会館がある。日本のトップランクにある

質問

スポーツクラブが、高齢化社会の健康者をターゲットにしたスポーツ、さらにスポーツ医学のノウハウを応用して家庭医学、予防医学の分野にまで進出してきた。地方自治体からのスポーツ施設の運営も受託している。

体育館を「PFI」で建設し、施設運営は民営化すればよい、満足するに足るサービスというのは痒いところに手が届く民間

再質問

もつと具体的な答弁がいただけないか。

町長答弁

PFIアドバイザーを招へいして研究グループを立ち上げる。

自立に向けた施設整備のあり方

熊倉重樹 議員

東小学校の改築を

町 長

質問

羅臼町の合併は町民の約3分の1の反対で、自立を選択しました。町民に合併を問いましたが、責任は「町」と「我々議会」が負うこととなります。

町の財政は危機的な状況にあります。7割補助に匹敵する合併特例債が使えなくなった今、老朽化した施設をどのように整備し、維持管理していくのか早急な見直しが必要だと考えます。

災害時や子ども達の安全を確保するためにも「農業高校体育館・町体育館・学校給食センター・郷土館」更に、東小学校は耐震構造となつていません。今後の整備計画をお聞きます。

道路整備五カ年計画も財政的に厳しいことが予想さ



改築が望まれる東小学校

れます。生活道路の整備は、地域住民にとって身近な問題であり、重要なことから、どのように知恵を絞って計画通り進めるのか、お聞かせを願います。

町長答弁

ご指摘の通り三位一体の改革等で補助率の引き下げも考えられ、新たな施設を建設することは、難しい状況にあります。

ご質問の各施設は、5～15年で耐用年数に至りますので、管理運



町のスポーツ施設（運営は民間活力で）

営方法の検討もしながら補修や改修で維持管理をしてまいります。東小学校は、子どもの安全対策もありますので、耐震化を図るためにも、重点として早急に改築を進めたいと考えています。道路整備は、住民要望も大きく、特に市街地の整備が遅れています。生活道路は、補助事業の導入が難しいことから、簡易的な舗装を考えています。厳しい財政状況のなか、限られた予算の範囲で優先度を考え進めます。

児童会館の開設を

第五期総合発展計画で検討

町 長

赤波江利夫 議員



児童館

質問

以前、質問しましたが、そのなかで、児童会館設置条例には「町に居住する児童の健全な育成を図り、その福祉を増進するため児童会館を設置する」と規定され、その時、計根別も含めて6ヶ所の児童会館があり、7ヶ所目の開設に向けて町として、長期計画に基づき児童会館の開設を検討しているところとの答

弁をいただいております。中標津の児童も減っていません、地域の方々の思いも配慮して頂き、早期の開設が出来ないものかお聞きします。

町長答弁

児童の郊外生活において、異なった年齢集団での遊び等を通して、地域における児童の交流をより一層深めることを目的として設置された児童健全育成施設であります。就学前の幼児が保護者と一緒

に遊んだり、子育てサークルの場としても利用されております。児童会館の役割拡大の整備として、新たに7ヶ所目の整備の見通しについてのご質問ですが、長期計画の中で検討している。

少子化対策、子育て支援対策など、策定委員会を設置しているところでもあります。

町の第五期総合発展計画のなかに盛り込んでおり、地元住民の方々の意見や町の財政等を考え十分な検討をさせていただきます。

シルバーハウジングの建設

財政状況を見極め努力

町 長

赤波江利夫 議員

質問

急速に少子高齢化社会が進む中で高齢者世帯が増加しているため、住みやすいように配慮した高齢者向き公営住宅建設の予定について、以前に質問した。

17年から建て替えが予定されている旭第2団地に、建設がされるよう前向きな答弁があったが、17年度の予算案にはどこにも見当たりません。

先月の新聞では釧路町が、シルバーハウジングを建設すると

載っていた、共働き夫婦、お年寄りが共生する集合住宅で世帯が独立したスペースと生活の一部を共有化するものです。

否応なしに進む高齢化社会に向けた取り組みが広がることを望ましく、福祉の町、中標津にふさわしいことだと思います。

町長答弁

日本は少子高齢化が急速に進んでおります。

このため、平成9年度に策定した中標津町公共賃貸住宅再生マスタープランでも高齢化

に対応すべく、旭第2団地に30戸のシルバーハウジングを整備するとなっております。

旭第2団地



旭第2団地

の整備も最低でも5年かかるものと思います。

また、町が公住を持つことに對し、民間の賃貸住宅を圧迫しているのではないかと、その辺の調査も考えております。

公営住宅政策を見直し、財政状況を見極めながら、福祉サーピスを含む共生型集合住宅としてのコレクティブハウジング構想も調査研究し、出来るだけ早い時期に着手できるように努力してまいります。

スケートリンクの落ち葉対策

柴野忠征 議員

整氷作業で影響を最小限に 教 育 長

質 問

平成15年に供用開始された運動公園内のスケートリンクに、カラ松等の落ち葉が侵入、再三にわたり調査を行いました。財政が許せば、全天候型のリンクを求めますが、当面防護網で対応できないか。

教育長答弁

今年度の利用期間は12月中旬

から2月末までの約70日間で1万4千人を超え、前年度を大きく上回った。

屋外施設につきましては、気象条件などで、いろいろな障害が想定されますが、スケートリンク造成時には、全面清掃を繰り返して行いなど対応して、落ち葉・砂の対策として、整氷車により入念に造成を行っており、競技中についても状況に応じ、

整氷作業を実施し、影響を最小限に止めているところでございます。

運動公園整備事業は、平成20年度完成予定で、今年度以降、芝生造成・植栽・散策路などの工事により、周辺環境が整備され、落ち葉・砂の侵入が緩和されるものと考えております。

一昨年、元スピードスケートオリンピック出場選手を招へいし、実施しましたオープン記念事業では、氷の状態、立地条件など一定のレベルに達した施設

との評価をいただいているところであります。



スケートリンク

高卒等の若年者雇用対策

柴野忠征 議員

関係団体と連携し対応 町 長

質 問

高卒就職率の低さが指摘され、中標津農業高校で70・3%、中標津高校で67%の就職内定(2月1日現在)、若年者の未就労は、本人・地域にとっても大きな損失です。町の就労対策として、「格子状防風林の管理育成」「カラ松材の新規活用」「酪農ヘルパーの充実」など、雇用創出として、社会福祉協議会、都市施設管理センターなどへの職員派遣、

出向の見直し、新規雇用発掘、財政改革で雇用確保の道は開けないか。

町長答弁

7月に商工会主催「地域雇用上改善促進協議会」や高校との求人懇談会で、雇用対策で意見交換、企業選り、仕事選りを選び、インターンシップ制度を推進、昨年9月以降、就職希望者の増加、今後は教育機関、

職業安定所、関係団体と連携し対応します。

「格子状防風林」について、平成14年から3年間「緊急地域雇用創出特別対策推進事業」で19名の雇用創出、町有林・

民有林の整備は「循環資源林整備事業」で維持管理、造林枝打ち等の工事は民間企業に発注、林業界も経営が厳しく多く

の雇用は望めない。

民間や酪農青年がヘルパー業務を行っています。酪農家からは、質の高い熟練ヘルパーの派遣が求められています。

町職員の派遣、見直しは、町関与の中標津町社会福祉協議会1名、中標津都市管理センター1名、中標津町文化スポーツ振興財団6名の計8名、団体職員の動向を見極め、将来的には見直しを考えています。



福祉センター全景

高齢者無料バス券制度復活を

渡邊将史 議員

復活の考えは当面ありません 町 長

質問

この制度については、高齢者の外出、通院の問題など大事な対策制度と考えている。

今まで70歳以上にバス券配付と聞いていたが、75歳以上を対象とした制度の復活を望む。

75歳以上が千5百81人、介護保険施設入所者、同施設待機者及び運転免許保有者が、7百26人、単純に計算しても、8百55人が無料バス券配付対象者となる。

る。

町財政状況は大変厳しいことは承知している。高齢者の利便性を考え、75歳・80歳と段階的に続けなかったのか、また、バス券復活について町長の考えをお聞かせいただきたい。

町長答弁

平成5年度に敬老バス券を実施した。年間72枚、月6枚を交付した。制度開始から路線対象

安全な学校づくりを

佐藤武志 議員

管内地教委や道教委と協議

教 育 長

質問

大阪の寝屋川市で不審者による教員刺殺事件が起きた。このことは、全国どこの学校でも起こり得るので憂慮している。

子どもや教職員の身を守るため、対応策を検討すべきと考えられているが、見解を示して下さい。

教育長答弁

町教委として現在まで、不審者侵入時の危機管理マニュアル

の作成など、教職員や児童生徒の安全対応能力の向上をはかるための防犯教室開催の推進など、学校における安全対策の支援を行ってきまし

た。今までは、開かれた学



敬老会を子どもたちと一緒に

「ホンの設置、護身用としてサスマタの配備をしましたが、このような設備面だけで安全を確保できるものでなく、保護者や地域住民の協力のもと、最新情報を共有するなど、学校とも協議しながら、安全な学校づくりに勤めていきたい。

外に住んでいる人が利用出来ないことから不公平との指摘を受けていた。

スクールバス

ス等を利用出来るよう措置を講じたが、運行時間帯が合わない等、抜本的解決が見出せず廃止した。

該当者の約44%の利用状況で、一人当たりおよそ1



循環線バス

万円のコストとなり特定の方のみが恩恵を被る状況でした。

町の財政状況から判断し、国からの地方交付税の著しい減額もあり、厳しさが増すことが予想され、無料バス券制度復活は当面考えていません。

町民の理解と協力のもとに、一層の福祉サービスに努める所存です。

再質問

学校は本来閉ざされたものでなく、開かれたものと考え、教職員の対応にも限界があります。子どもが安全な生活を送れるよう、学校の危機管理に対応する「安全管理者」という新たな職種の配置を国に要望することも重要と考えるがいかがか。

教育長再答弁

国や道が財政的に大変厳しいが、児童生徒の安全を守る一つの方策と考え、管内地教委や道教委とも協議していきたい。

合併から自立に向かつて

吉田辰男 議員

自立には大変な覚悟を

町 長

質問

町長は、合併を断腸の思いで断念を発表していながら、さらなる断腸の思いを引きずり、財政の厳しい自立ビジョンも見えない。

施政方針の中でも新たな枠組みの中で合併も含めてということとは、合併の動きがあるのか。

特別職である町長の給料は10%カットの報道がされておりましたが全町民、町職員に痛み

を求める町長としては、少なくとも自ら20%は減額する考えを打ち出して、町民の協力を呼びかけ、町長としてのリーダーシップを自らの行動で示されないことは残念と思う。

町長答弁

私としては、合併を望んでいた羅臼町それから町内の合併を望んでいた多くの方々にとって説明不足の意思表示を出したの

行政効果の評価のための指標設定に

松村康弘 議員

目標を掲げて検討をする

町 長

質問

西澤町長初めての予算議会において、過去に前町長に対して行った将来における研究課題とする旨の答弁をいただいている。課題の質問を再び行う。

先の12月「合併見送り」やむなしとなった議会において、歳出の見直しと、その中において実施する施策が、より効果を上げるべく、全力を傾けていく決

も事実であります。

それから自立には、相当の覚悟がいると言うふうには私は申し上げましたが、合併をしてもしなくても財政は非常に厳しいというところは、明らかでしてそういった意味で自立という道を、また、一つ大変な覚悟をしなければならぬという意味で申し上げた次第であります。

また、基本給であります特別職を10%、一般職5%の削減と職員には大変な痛みを強いる訳であります。

町長は自ら20%ぐらいカットすべきでないかご意見でござ

町長答弁

近年、事務事業評価の手法を取りまとめ、計画 実行 評価を繰返すことにより、時代にあった行政を進めてきており、まちづくりに町民評価として住民



政策評価の議論の始まる各部局フロア

いましたけれども、私としては特別職10%カットというのが、適当であるということで決定をさせていただいた訳でございます。



役場庁舎

アンケートを実施しているが、これらの手法は職員の意識改革には貢献するが、政策・施策の達成度合いを測るには反映しづらく、さらなる研究が求められています。

その点で、提起された手法については今後、各種の施策において目標数値を示し、達成目標を掲げていく方法でさらなる研究検討を進めていくが、当面、各部局内において進めていく各施策において、何を指標数字とするべきか、議論することは意味あることであり、至急現場に浸透させるようにつとめたい。

中標津市街における温泉と演出を

松村康弘 議員

まちづくりの戦略として位置付け

町 長

質問

昨年以來国内の温泉の質についてマスコミでずいぶん取り上げられています。

かけ流しなのか、循環ろ過なのか、本物なのか、水道水なのか、レジオネラ対策が求められる昨今にあつて、我が町の市街地ではボーリングすれば温泉が出ており、側溝からあがる蒸気に温泉情緒を感じ、また、町立病院にも温泉があり、まさに

「いのちのホテル」となっている。これだけの資源をどう評価し、地域振興の中に位置付け、今後期待される観光振興の中の大切な柱として育ててきたとはいえない現状であると考える。

市街地の温泉の演出について、町民の参加を求めて、検討してはいかがか。

町長答弁

都的市街地の中で、どこで

も温泉の湧き出る町は道内でも数少ないと認識している。

一方、道内の著名な温泉地でも水位や湯温が下がったりしてきているケースもあり、我が町の温泉が将来どのようになっていくかを北海道の研究機関の協力を得て調査研究するなかで、まちづくりの戦略として位置付けを検討して参りたい。

また、まちづくり戦略として中標津空港ターミナルにおける温泉の可能性については研究課題としていきます。

町民の参加を求めて演出の研究ということであるが、広い視

町長答弁

次年度以降に「ツケ」を繰り延べないようにするため、この段階で病院長を含め、特別職10%、一般職5%と連動する手当てなどに

ついて削減の措置を講じさせていた。ただし、8億5千万円

の一般財源の圧縮に対応した。

このよう
な状況下で、

野の中で、特徴あるコミュニティアイデンティティを確立していく方向で研究していきたいと考えています。



温泉浴場のある町立中標津病院

協働の呼びかけと各基本条例や年次計画の具体化の自

松村康弘 議員

環境基本条例制定に向けて調査研究

町 長

質問

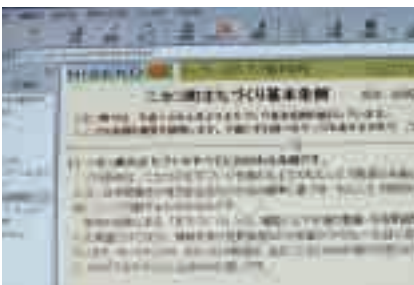
自立を選択することを決断してから3ヶ月、急激な意識改革を迫られるなかで、この度の予算を提案された町長に対し、ここにたどり着くまでの過程について、職を賭すような苦汁の決断もあつたことを推察しますが、「協働」には感動が必要であり、その意味では私達に見えづらい水面下の努力の一端を語って

ただきたい。

その上で、施政方針に盛り込まれた自治基本条例や環境基本条例の制定や、温暖化防止のための年次行動計画など、いわゆる環境首都をめざす町として求められる諸政策が具体化する時期はいつごろとなるのか、また、温暖化防止策については走りながらの政策立案でもよいと考えるが、いかがでしょうか。

町民一人ひとりが町政に参加し、町民の声が町政に反映される、平等で公平なまちづくりのシステムづくりのため、自治基本条例の制定に向けた取り組みや環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための環境基本条例制定に向けた取り組みを本年度、調査研究

組みを本年度、調査研究18年度には計画策定や条例化に向けた取り組みを進めたいと考えておりますので理解と協力を賜りたいと思っております。



道内先進地二セコ町のまちづくり基本条例HPより

3月定例会

員会一問一答...

主なものを掲載します

【質問】

厳しい不況の中で、町民の生活も苦しく、町財政は国の政策もあつてとても厳しいところへきている。町税の滞納に対する対策、特に差押え等滞納処分の措置も取られるべきと考えるが、最近の状況をお聞きしたい。

【答弁】

収納向上対策については、ホームページ、回覧板、チラシ等による自主納付の啓発を図るとともに嘱託徴収員による臨戸徴収に取り組んでいる。また、平成14年度からは夜間収納窓口及び休日窓口の開設により、納付環境の拡大を図るとともに納付催告、給与調査、財産調査等による差押処分についても実施している。なお、平成17年度からは、滞納者への行政サービスの制限導入を予定している。

2月末現在での差押状況については、所得税還付26件、87万円、給与差押8件、256万7千円、生命保険差押2件、百66万9千円、交付要求15件、千百87万5千円となっている。

【質問】

団塊の世代と言われる定年退職者が2年後には関東を中心におよそ百70万人になる。退職者の一部が都会を離れ、当地方に定住を希望されるとしたら、交通の利便さ医療機関の充実だけではインパクトが薄い。

二セコ町ではインターネットを活用し、官民一体で基盤整備を進めている。20万円の予算で何をするか。

【答弁】

平成17年度については、ホームページの立ち上げ等を予定した。また、中標津町単町のみではなく、管内地域及び民間も含めたなかで進めていく。

インターネットの活用については、現代社会においては水、電気の次ぐらいに重要と考えており、市街地については問題ないが、郡部地域については状況が不明のため十分に検討していきたい。

移住促進対策については北海道の事業であり、道と連携したなかで進めていく。

【質問】

高齢者や身体障害者等に対して、従来急病や災害等の緊急時の連絡をするための機材は無料で貸与されていたが、新年度からは有料化になると辞退者が出るのではないかと。事前の意向調査はしたのか。



緊急通報器具

【答弁】

低所得の独居老人等からの負担金徴収には胸が痛むが、受益者負担の原則に基づき負担徴収することとした。また、本制度は、国の三位一体改革により一般財源化の対象事業となったものであり、今までどおりの取り扱いとはならなかったものである。

【質問】

予算時において時間的余裕がなかったことから、14日付で各利用者への周知をおこなった。今後は、充分利用者と協議するよう配慮していきたい。

町長の減免規定の適用については、今後の利用者の動向等により判断したい。

【質問】

幼稚園奨励費補助の件ですが、今年度は予算付けされていますが、新聞報道によりますと、根室市を始め他の市町村では、補助打ち切り方針が出ています。中標津でも幼稚園団体や父母の間で色々な動きが出ていますが、来年度に向けた予想を聞かせてください。

【答弁】

幼稚園奨励費補助につきましては、少子化の今日、財政が厳しい状況にあるとはいえ、即座に見直しを行うということにはならないと考えますが、税収他、歳入にも力を入れ当予算の維持に努めてまいりたいと考えます。

平成17年

予算審査特別委

町立計根別幼稚園



【再質問】

中学校の部活動は将来的に社会体育に移行すべきと思うが、現実として、全道大会をめざしがんばっている姿がある。しかし、補助率が下がる個人負担が増大。中標津の将来を荷負う子ども達のために支援をしっかりとすることが必要では。

【答弁】

受益者負担の原則から補助率の改正を行っているが、極力子ども達に係わるものを削減しない方向で見直しを実施した。

【質問】

スポーツ文化遠征費補助の予算は33%程の削減となっているが、16年度の実績は。

【答弁】

36事業で対象児童生徒数2百50名、引率教員41名、5百38万8千円となっています。

【質問】

当町のプールは次亜塩酸ナトリウムによる滅菌をしている。近年トリハロメタンやトリクロロエチレンなどの発がん性物質が生成されると言われている。

利用者も減少している折でありシャランプー等の利用を検討すべきではないか。

【答弁】

次亜塩酸ナトリウムによる滅菌消毒については、紫外線等による消毒をした場合でも必ず行わなければならないならば厚生省基準であり、一日に4回の測定の中で調整している。

女性利用

者からのシャランプー使用要望が多く出されているが、公衆浴場的な利用が危惧されている。

厚生省基準の遵守のみではなく、利用者の意識、子供達への指導を含めて検討していく。

町温水プール



3月定例会で決まりました

平成17年3月7日から17日まで開催し、議決された主なものを掲載いたします。

3月補正額(16年度分)

一般会計予算は1億1千4百72万3千円増額し、百35億2千9百57万円となりました。

国民健康保険特別会計は3

千6百27万5千円増額し、23億5千10万円となりました。

老人保健特別会計は千百59万8千円増額し、18億2千7百37万2千円となりました。

介護保険事業特別会計は7百7万2千円減額し、9億2千4百85万3千円となりました。

下水道事業特別会計は52万6千円減額し、15億4千2百80万5千円となりました。

簡易水道事業特別会計は2百21万2千円増額し、1億9千6百4万9千円となりました。

水道事業会計は4百85万7千円減額し、6億9千8百67万5千円となりました。

条例の制定と改正

(主なものを掲載します)

特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

平成17年度から報酬を受けている各種委員は、町内日帰りの場合の日当は支給しない。

特別職の職員の給与に関する

条例の一部改正(町長、助役、教育長)

平成17年度に限り、給料を月額10%削減。

職員の給与に関する条例の一部改正

平成17年度に限り、給料を月額5%削減。

中標津町手数料条例の一部改正

現地目に関する証明手数料一筆千円から2千円に、一筆増すことに5百円から千円に改正。

中標津町立学校授業料等徴収条例の一部改正

農業高校生の授業料を月額9千3百円から9千6百円に新入学生より改正。
(在校生は改正前の額)

中標津町へき地保育所条例の一部改正

平成17年度から西竹へき地保育所を廃止し6ヶ所とする。

中標津町在宅福祉事業条例の一部改正

平成17年度から、生きがいデザイナーズ事業の利用料

をA階層年収60万円未満、5百50円から6百50円に、B階層(年収60万円以上百20万円未満)、7百70円から9百10円に、C階層(年収百20万円以上)千百円から千3百円に改正。

移送サービス事業の利用料(片道) A階層2百50円から3百20円、B階層3百50円から4百50円、C階層5百円から6百50円に改正。

中標津町知的障害者地域生活援助事業の運営に関する条例の一部改正

平成17年度からグループホーム入居者の使用料が月額5千円から6千円に改正。

中標津町営牧場設置条例の一部改正

平成17年度から6か月以上1日2百20円を2百36円に、人工授精等希望牛及び妊娠牛1日2百52円を2百70円に改正。受精卵移植希望牛の捕獲料を2千5百円とした。

中標津町畜産食品加工研修センター設置条例の一部改正

平成17年度から基本使用料

受講者使用料の改正は13頁別表のとおり。

中標津町農業委員会委員の定数に関する条例改正

選挙による委員定数を15名から14名、選任による委員を3名から2名に改正。

中標津町収入役の事務の兼掌に関する条例制定

平成17年度から収入役を廃止し、助役が兼務することにした。

中標津町緊急通報システム事業条例制定

在宅の高齢者及び身体障害者等が急病・災害等緊急時の連絡及び援助体制を図る目的のため制定。利用者は緊急通報システム端末機器の貸与をうけ、利用者負担金は1ヶ月A階層4百50円、B階層6百30円、C階層9百円とした。(A・B・C階層区分は在宅福祉事業条例の区分と同じ)

中標津町家庭菜園設置条例制定

平成17年度から家庭菜園の使用料は1区画(72㎡)当たり2千円とした。



固定資産評価審査委員会委員の選任
 住所 標津郡中標津町東24条南5丁目2番地
 氏名 上野勝侑氏
 任期 平成17年23日から平成20年3月22日

条例制定・意見書・決議

- 中標津町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
 ・平成17年度から議会議員の町内日帰り日当を廃止。
 提出者 高田重樹
- 中標津町議会の議員の定数を定める条例の一部改正
 ・次回の町議選挙から議員定数は24名から18名とする。
 提出者 平川武雄
- 平成17年度酪農畜産政策・価格対策の確立に関する意見書
 提出者 岡部 實
- 所得税等の定率減税縮減・廃止に反対する意見書
 提出者 渡邊将史
- 職業紹介業務の民間開放に反対する意見書
 提出者 佐藤武志
- 北海道経済の活性化等を求める意見書
 提出者 柴野忠征
- 石井初義議員に対する議員辞職勧告決議
 提出者 柴野忠征

平成17年度中標津町の予算規模 (単位:千円)

| 会計名 | 平成17年度 | 平成16年度 | 比較 | 伸率 | |
|------|----------------|------------|-----------|---------|-------|
| 一般会計 | 11,494,000 | 13,274,000 | 1,780,000 | 13.4% | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業特別会計 | 2,248,441 | 2,315,962 | 67,521 | 2.9% |
| | 老人保健特別会計 | 1,781,381 | 1,809,725 | 28,344 | 1.6% |
| | 介護保険事業特別会計 | 963,621 | 905,409 | 58,212 | 6.4% |
| | 公設地方卸売市場事業特別会計 | 20,795 | 21,126 | 331 | 1.6% |
| | 町営牧場特別会計 | 78,494 | 127,973 | 49,479 | 38.7% |
| | 下水道事業特別会計 | 1,320,189 | 1,454,071 | 133,882 | 9.2% |
| | 簡易水道事業特別会計 | 227,722 | 193,051 | 34,671 | 18.0% |
| 企業会計 | 水道事業会計 | 895,049 | 713,033 | 182,016 | 25.5% |
| | 病院事業会計 | 4,362,374 | 4,517,696 | 155,322 | 3.4% |
| 合計 | 23,392,066 | 25,332,046 | 1,939,980 | 7.7% | |

助役の選任に同意
 下村陽一助役・武田正幸収入役の勇退に伴って後任助役(収入役兼務)に清原哲雄氏(総務部長)の選任に同意する。
 住所 中標津町東13条北5丁目13番
 任期 平成17年4月1日から平成21年3月31日まで
 石井初義議員の産業常任委員会副委員長、議会運営委員会委員辞任に伴う後任を選任する。
 ・産業常任委員会副委員長、議会運営委員会委員に吉田貢一議員を選任する。
 ・標津依橋大規模草地一部事務組合議会議員に後藤一男議員を選任する。

平成17年
 第2回臨時会
 (平成17年3月28日)

町道路線の認定
 及び廃止について
 平成17年1月18日をもって町道に認定されるのは22路線。廃止されるのは3路線。

平成17年
 第1回臨時会
 (平成17年1月18日)

(別表) 中標津町畜産食品加工研修センター使用料

| 区分 | 基本使用料(1研修につき) | | 受講者利用料 |
|-----------|---------------|---------|--------------|
| | 5月から10月 | 11月から4月 | |
| 乳製品研修 | 1,500円 | 2,100円 | 1人1回 600円 |
| 肉製品研修 | 1,000円 | 1,500円 | 600円 |
| アイス・バター研修 | 400円 | 600円 | 300円 |

平成17年 1月から3月までの行事関係

| 期 日 | 行 事 | 出席者 | 期 日 | 行 事 | 出席者 |
|------|-------------------|----------|-----|-----------------|----------|
| 1月6日 | 町新年交礼会 | 議 長 他 | | 中標津町外2町葬斎組合議会 | 議 長 他 |
| 7日 | 町成人式 | 議 長 他 | 3日 | 議会運営委員会 | 9 10 |
| 8日 | 消防団出初式 | 議 長 他 | 7日 | 3月定例会本会議（1日目） | 23 24 |
| 11日 | 議会広報特別委員会 | 5 5 | 8日 | 3月定例会本会議（2日目） | 23 24 |
| 18日 | 第1回臨時会 | 24 24 | | 予算審査特別委員会（1日目） | 23 24 |
| | 第27回中標津町表彰式 | 24 24 | 9日 | 予算審査特別委員会（2日目） | 23 24 |
| 20日 | 議員定数削減特別委員会 | 24 24 | 10日 | 産業常任委員会 | 5 6 |
| 24日 | 管内町村議会議長会定期総会 | 正 副 議 長 | | 建設常任委員会 | 6 6 |
| | 管内1市4町正副議長協議会 | | 11日 | 総務常任委員会 | 5 5 |
| 28日 | 議員定数削減特別委員会 | 24 24 | | 文教厚生常任委員会 | 6 6 |
| 2月2日 | 産業常任委員会 | 6 6 | 14日 | 予算審査特別委員会（3日目） | 22 24 |
| | 建設常任委員会 | 6 6 | 15日 | 予算審査特別委員会（4日目） | 23 24 |
| 8日 | 議員定数削減特別委員会 | 24 24 | 16日 | 議会運営委員会 | 9 10 |
| 9日 | 議会広報特別委員会 | 3 5 | 17日 | 3月定例会本会議（3日目） | 23 24 |
| 10日 | 釧根林活連絡会議 | 委 員 | 18日 | 議会広報特別委員会 | 4 5 |
| 14日 | 議員定数削減特別委員会 | 21 24 | 22日 | 建設常任委員会 | 6 6 |
| 15日 | 文教厚生常任委員会 | 6 6 | 23日 | 議会広報特別委員会 | 5 5 |
| 3月2日 | 根室北部廃棄物処理広域連合議会 | 議 長 他 | 25日 | 広域連合ごみ処理施設建設起工式 | 議 長 外 |
| 3日 | 標津依橋大規模草地一部事務組合議会 | 議 長 他 | | 4 常任委員会合同研修会 | 23 24 |
| | 根室北部衛生組合議会 | 議 長 他 | 28日 | 第2回臨時会 | 23 24 |
| | 根室北部消防事務組合議会 | 議 長 他 | 31日 | 議会広報特別委員会 | 5 5 |

上段 = 出席者・下段 = 定数

議会だよりに対する
ご意見をお寄せ下さい。

中標津町役場
中標津町丸山2丁目22番地
TEL(01537)3-3111
FAX(01537)3-5333

議会事務局 内線502・503
にご連絡を...

- ・ホームページは
http://www.nakashibetsu.jp
- ・メールは
nakasi-t@arens.or.jp

発行 / 中標津町議会
 編集 / 中標津町議会広報特別委員会

新年度予算、条例等を審議する3月定例会議会が終わりました。

昨年9月に選出された西澤町長、新議員にとっては初めて新年度予算の審議をする議会でした。

17年度の町の予算は、国の三位一体改革の影響も受け、大変厳しい内容となりました。今後、自立の道を決めた中標津町にとって厳しい財政状況は続くと思われ、今、自治のありかたが問われ、地方分権の進行など大きな時代の変革期を迎えています。

議会もこの困難な時代を、町民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、住みやすい、住んでよかった中標津にするため努力してまいります。

編集を終えて

